

大都市の高齢者は介護難民の予備軍

※各種表は厚生労働省・総務省・内閣府の資料に基づき算出しています。



65歳～74歳の前期高齢者

75歳以上の後期高齢

高齢者総数

現在と10年後の高齢者

2015年集計	1,755万人	1,650万人	3,405万人
2025年推計	1,479万人	2,179万人	3,658万人
後期高齢者の増加数		約500万人	2025年問題

要支援・介護高齢者

2015年現在

要介護5	7.1万	51.4万	58.5万
要介護4	7.6万	63.8万	71.4万
要介護3	9.0万	68.4万	77.4万
施設入所が可能な要介護3以上の高齢者			207.3万
要介護2	13.4万	89.8万	103.2万
要介護1	13.8万	101.4万	115.2万
要支援2	12.0万	69.9万	81.9万
要支援1	12.5万	73.6万	86.1万
合計	75.4万	518.3万	593.7万

入所介護福祉施設

2015年現在

施設名称	入所定員(利用者数)
介護老人福祉施設	51.8万人
地域密着型介護老人福祉施設	4.9万人
認知症対応型共同生活介護施設	19.0万人
介護療養型医療施設	6.3万人
介護老人保健施設	36.8万人
短期入所生活介護施設	(33.5万人)
合計	152.3万人

入所介護福祉施設が不足している中でも大都市ほど多数の入所希望者が待たされているのが現状です。特に首都圏では、介護需要の急増によって介護に携わる人材不足にも拍車をかけています。施設や病院などで介護を受けることができない要介護高齢者を介護難民と呼ぶことから、大都市の高齢者は介護難民の予備軍と言えるのです。年金・健康保険・介護保険の共助制度は少子高齢化と、団塊世代の約800万人が後期高齢者に入力する「2025年問題」により存続が困難になっています。その対策として厚生労働省は地域支援事業と地域包括ケアシステムを制定、内閣府は日本版CCRC構想の提唱を始めました。



地域支援事業と地域包括ケアシステム

要支援認定の高齢者は2018年度から介護保険から外され、市町村の地域支援事業の対象になり、要介護認定1と2の高齢者は2025年度をめぐりに介護保険から外され、市町村の地域包括ケアシステムの対象になります。

日本版CCRC構想

日本版CCRC構想とは大都市の介護難民、地方の限界集落化と創生に対する打開策として、大都市の高齢者が自らの意志で地方に移住し、地域社会に貢献し、自宅で人生の最期まで暮らせる体制づくりです。

人生100年時代、大都市の高齢者は介護難民の予備軍!!

山梨県笛吹市なら年金生活でも家族に負担をかけずに、生涯安心・充実の支援・介護・福祉サービスが受けられる「終の住処」の田舎暮らしができます。

現在の住居との買い替えで新築のオールバリアフリー住居への移住を考えてみませんか。

「終の住処」の基本住居・価格

土地
330㎡(宅地)

建物
72.46㎡(2LDK)
89.85㎡(3LDK)

価格
2,000万円～2,100万円
2,200万円～2,300万円



東京から電車や車で約90分

「終の住処」の田舎暮らし

株式会社 セカンドライフサポート

●山梨事業所 〒406-0023 山梨県笛吹市石和町八田330-161
TEL:055-287-6628 FAX:055-287-6638

●東京事業所 〒164-0012 東京都中野区本町4-7-14-101
TEL:03-6304-8715 FAX:03-6304-8716
http://sls.tokyo/ Eメール:info@sls.tokyo



特定非営利活動法人 地域福祉サポート笛吹

◎介護支援センター 〒406-0832 山梨県笛吹市八代町竹居1235-1
TEL:055-265-5133 FAX:055-265-5134

◎絆の家 〒406-0834 山梨県笛吹市八代町岡208
TEL:055-288-9001 FAX:055-298-4110
http://kizuna.social Eメール:info@kizuna.social

株式会社 セカンドライフサポート TEL:03-6304-8715

http://sls.tokyo/



詳細はQRコードからご覧いただけます。

人生100年時代の「終の住処」の田舎暮らし

人生100年時代。リタイア後の第二の人生は、豊かな自然の中でのんびり暮らしながら、まだ叶えていない夢を一つひとつ実現したいものです。一方、田舎で「終の住処(ついのすみか)」を探すなら、将来、支援や介護が必要になったとき、年金生活でも家族に負担をかけずに、生涯安心できる支援・介護・福祉サービスが受けられる移住先でなければなりません。

75歳以上の後期高齢者になると3人に1人が要介護状態になるという現実があるからです。

「終の住処」の田舎暮らしプロジェクトは、セカンドライフサポートと地域福祉サポート笛吹が協働し、地方公共機関や地域協力者などとも連携して、移住後の暮らしに必要なあらゆるサポートをいたします。

「終の住処」プロジェクト



地域福祉サポート笛吹 理事長挨拶

「地域福祉サポート笛吹」を2009年に開設したのは、営利のための事業ではなく、地域の皆様に社会貢献をしたいという熱い思いからでした。私たちは、地域福祉と社会貢献に理解と情熱を持つ役員と職員が一体となって、支援や介護が必要な方々に寄り添い、心の通った福祉サービスを提供し続けていることを誇りにしています。新しく笛吹市に移住してこられる方が、安心してセカンドライフを楽しんでいただけるよう、一層の努力をしていきたいと思っています。

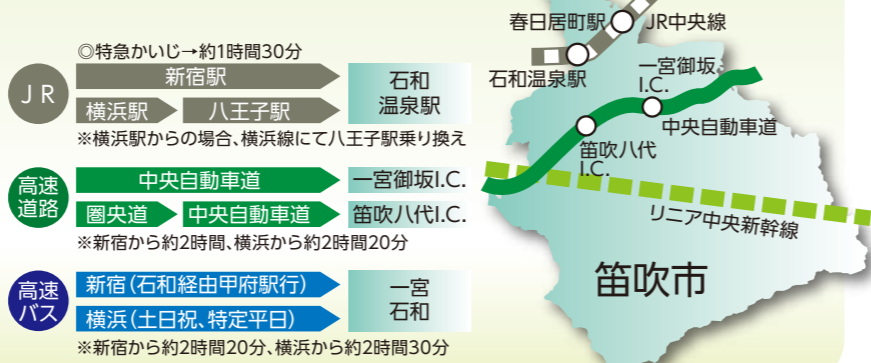


野澤 今朝幸
(のざわけさゆき)

東京から
電車や車で
約90分

笛吹市は桃と葡萄と温泉の桃源郷

笛吹市は、首都圏から電車や車で約90分。富士山と八ヶ岳連邦に囲まれた景観の中に、桃とぶどうの果樹園が広がり、天然温泉が豊かに湧き出る桃源郷のような地方都市です。近隣には、風光明媚な国内屈指の観光スポットやゴルフ場などもたくさんあって、リゾートのような利便性も楽しめます。田舎暮らしの移住先として、山梨県は常に上位に選ばれています。



「終の住処」の田舎暮らし

セカンドライフサポートが地域福祉サポート笛吹と協働して、「終の住処」の暮らしをトータルサポート。

地域協力活動による高齢者循環型社会

将来、支援や介護が必要になるのは避けて通れない現実!

74歳までの前期高齢者で要介護状態になるのは20人に1人ほどですが、75歳以上になると3人に1人の割合に急増します。しかも、6年以内には、介護を必要としているのに、そのサービスが受けられない「介護難民」が全国で約43万人、首都圏の1都3県では約13万人にもものぼると推測されています。地域福祉サポート笛吹は、超高齢化社会が到来すれば、健康で元気な高齢者が支援や介護の必要な高齢者に協力する地域互助が必要不可欠になることを予見して、地域協力活動による高齢者循環型社会の仕組みを長年にわたって作り上げてきました。



健康で元気なときの暮らし



地域福祉サポート笛吹の 地域福祉事業推進室の担当者

趣味をはじめたい、近くの観光巡りをしたい、地域コミュニティーや地域協力活動に参加したい。あるいは、社会貢献のために地元の農業の手伝や介護職に従事したいといった希望についても、私たちが移住してこられる方のそばに寄り添いながら、できる限りのお手伝いをさせていただきます。

地域コミュニティー・趣味観光・生活便利施設

地域福祉サポート笛吹が地域コミュニティーの拠点として設けた「絆Cafe花鳥」は、地域協力者や地元の方々が集いや憩いの場所として利用しています。移住してこられた方が地域コミュニティー、趣味・観光、生活便利施設などに不安を抱くのは仕方がないことです。そんな時には「絆Cafe花鳥」に気軽に立ち寄り、地域福祉事業推進室の担当者、地域協力者や地元の方々に何でも相談することによって、「終の住処」の田舎暮らしを快適に過ごすことができます。

地域コミュニティーの拠点施設「絆Cafe花鳥」



地域協力活動への参加

「高齢者循環型社会」を持続させるためにも、将来自分や家族が支援・介護が必要になったときのためにも、地域協力活動への積極的な参加をおすすめいたします。地域協力者には、地域福祉サポート笛吹から支援活動の規定費用と必要実費が支払われます。



地域協力者の申込と登録

支援活動の要請と依頼

地域協力者の支援活動

規定費用と必要実費の支払

農業手伝や介護職への従事



地域社会に貢献するためにも、仕事を通じた地域コミュニティーの形成のためにも、高齢化と後継者不足に悩んでいる地元の農業や、人手が足りない介護職などへの積極的な従事をおすすめいたします。



農業手伝の申込と登録

農業手伝の要請と依頼

農業手伝への従事

農業手伝報酬の支払

介護職の申込と面談

介護職員初任者研修

介護職への採用と従事

介護職報酬の支払

支援や介護が必要になったときの暮らし



地域福祉サポート笛吹の中村悦子センター長

「絆のサービスがあるから家で看続けられる。これからも頑張るよ」。あるご家族からいただいたこの言葉が今でも私の何よりの誇りであり、支えとして強く心に刻まれています。すべてのご家族にそう思っただけなのが、私の理想であり信念です。「支援や介護が必要なあらゆる方を受け入れ、ご本人もご家族も笑顔で過ごし続けられる居場所をつくる」という方針のもと、他の施設では受け入れを拒否される重症化が進んだ方であっても、可能な限り受け入れるために手を尽くします。年金生活の方でもご家族に負担をかけずに、住み慣れた地域の中で最期まで暮らし続けられるための支援・介護・福祉サービスを全力で行うことをお約束します。



地域協力者の支援活動

「地域福祉サポート笛吹」がつくりあげてきた「高齢者循環型社会」によって実現した有償ボランティアの地域協力者による支援活動を、低額な規定費用と必要実費のみで提供いたします。認定を受けられない支援が必要な方でも、外出支援や代行支援など、地域協力者による手厚い支援活動を受けることができます。



地域福祉サポート笛吹の通所・居宅・入所介護施設



通所・居宅介護施設「絆・介護支援センター」



地域密着型小規模通所介護施設「絆・岡の家」



医療機関隣接高齢者支援施設「絆・なつめの家」



高齢者入所生活支援施設「絆・森の上」

支援・介護・福祉サービスの提供



「地域福祉サポート笛吹」には、あらゆる介護福祉事業に必要な有資格者が在籍しています。サービス計画の作成、地域支援事業の介護予防・生活支援サービス、介護保険制度の介護サービスの他にも、地域協力者による支援活動、暮らしに関するサポートなど、介護保険制度外の支援・福祉サービスも提供いたします。要支援認定の方には、地域支援事業の通所・居宅形態の介護予防・生活支援サービス、要介護認定の方には介護保険制度の通所・居宅・入所形態の介護サービスなど、心の通ったさまざまな通所・居宅・入所形態のサービスを受けることができます。



支援や介護が必要になったときの暮らし

暮らしに関するサポート

暮らしに関するさまざまな問題や相談について、「地域福祉サポート笛吹」が全面的にサポートいたします。介護認定の申請が必要になられた方、介護老人福祉施設などへの入所が必要になられた方、生活上の困りごとなども親身に寄り添ってサポートいたします。



総合通報システムの受信と対処

急病などの
緊急時



介護などの
要請時



安否確認
の
必要時



通報待機中

地域福祉サポート笛吹

「終の住処」には総合通報システム「じしんたすけ」が設置されていて、支援や介護が必要になったときに作動できるようにしています。急病などの緊急なとき、介護などを要請したいとき、安否確認が必要なときには「地域福祉サポート笛吹」などが受信し、迅速に対処いたします。支援や介護が必要になられた方は、生涯安心して暮らすことができるわけです。

人生の最期を迎えたときの準備

誰もが迎える人生の最期については、残されたご家族を困らせないために生前の準備をおすすめいたします。セカンドライフサポートがお墓を建てたい場合はお寺や霊園、樹木葬などの散骨や墓じまいをされたい場合は信頼できる専門業者をご紹介します。

互惠納骨堂の利用

セカンドライフサポートは「終の住処」の田舎暮らしプロジェクトの基本理念である互助活動の一環として、八王子市の富士見台霊園に100霊収蔵できる互惠納骨堂を建之いたしました。地域協力活動などに貢献された方は、少額な初期費用だけで五十回忌まで利用することができます。



生涯安心して暮らせるオールバリアフリー住宅を建てるとき！ 現在の住居の売却や賃貸また買い替えは責任受託いたします。

「終の住処」のモデルハウス

「終の住処」は日本住宅性能評価機構による
10年間保証の住宅です。



※モデルハウスを除くオプションの外構工事などはCGで作成したイメージ図です。

選択式注文住宅の建築とアフターサービス

オールバリアフリーの選択式注文住宅の建築やオプションの外構工事などは、地元の信頼できる工務店が責任をもって施工いたします。アフターサービスも工務店が地元のため、迅速な対応ができますので安心していただけます。



現住居の売却・賃貸・買い替えの受託



現在の住居を売却や賃貸したい、売却資金で「終の住処」を買い替えたい場合には、セカンドライフサポートが業務提携している不動産業者が責任をもって受託いたします。

オールバリアフリーの「終の住処」

選択式注文住宅の「終の住処」のプロセス

土地の決定

「終の住処」の土地は生涯の暮らしに必要な生活利便施設、介護福祉施設、趣味・観光場所などをご覧いただいたうえで決定していただけます。

不動産購入申込書の提出と建築確認の申請

決定した「終の住処」の不動産購入申込書を提出していただいた後、選択式注文住宅の建築確認を申請いたします。

不動産売買契約書の締結と選択式注文住宅の建築

建築確認済証が発行された後、「終の住処」の不動産売買契約を締結したうえで、住宅性能保証制度に適合した選択式注文住宅を契約内容に従って、お渡しした各種の図面と外観図どおりに責任をもって建築いたします。

選択式注文住宅の決定

モデルハウスをご覧いただいた後、三次元ソフトと大型ディスプレイを使用し、選択式注文住宅の仕様を選んでいただきながら決定いたします。選択式注文住宅の完成イメージを画像で確認できますので安心していただけます。三次元ソフトで作成した各種の図面と外観図や御見積書をお渡しいたします。



「終の住処」の基本仕様

土地		建物		付帯設備	
面積	330㎡以上	面積	72.46㎡(2LDK)・89.85㎡(3LDK)	LDK	システムキッチン・吊戸棚
		様式	新築木造平屋建(オールバリアフリー)	洋室	クローゼット
権利	所有権	電気	東京電力	トイレ	ウォシュレット・手洗・フルオート洗浄
地目	宅地	上下水	公共上下水道(一部の地域は簡易水道・合併処理浄化槽)	洗面所	化粧洗面台
接道	認定道路			浴室	ユニットバス・手摺
形状	平坦地	ガス	プロパン	全室	手摺取付用下地施工

※基本仕様の記述はほんの一部だけです。

	外部仕上	内部仕上	床	壁	天井	天井高
屋根	ガルバリウム鋼板	玄関	タイル張り	ビニールクロス	ビニールクロス	2,500mm
外壁	サイディング	LDK	複合フローリング	ビニールクロス	ビニールクロス	2,600mm
玄関扉	断熱アルミサッシ	洋室	複合フローリング	ビニールクロス	ビニールクロス	2,500mm
開口部	断熱アルミサッシ	トイレ	CFシート	ビニールクロス	ビニールクロス	2,400mm
ポーチ	タイル張り・手摺	洗面所	CFシート	ビニールクロス	ビニールクロス	2,400mm
スロープ	モルタル仕上	浴室				ユニットバス(1616タイプ)

2LDK住宅の完成図例と間取図例



3LDK住宅の完成図例と間取図例

